

平成 28 年度

後 期 日 程

小 論 文 (40 分)

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開いてはいけません。
- 2 監督者の指示に従って、解答用紙の該当欄に志望コース名及び受験番号を記入しなさい。
- 3 解答用紙の※を付した欄には、何も記入してはいけません。
- 4 解答は、小論文解答用紙を用い、400 ～ 500 字以内にまとめなさい。
- 5 選択解答する課題の番号を解答用紙の選択課題番号欄に必ず記入すること。

(例)

選択課題番号
1

- 6 解答は、解答用紙の指定された欄に記入しなさい。
 - 1) 解答は横書きで、文字はていねいに、はっきり書くこと。
 - 2) 句読点は、1 字として 1 マスに入れること。
 - 3) ローマ字、数字を使用するときは、マス目にとらわれなくてよい。
 - 4) 改行はしないこと。
- 7 下書き用紙は回収しますが、採点は解答用紙のみで行う。
- 8 試験終了後、この問題冊子は持ち帰りなさい。

小論文課題

次の3つの課題から1つを選択して解答すること。

- (1) 持続可能な社会の実現のために、トウモロコシなどの食用穀物を原料とするプラスチックの開発が行われている。この開発の有用性と問題点を挙げ、問題点を解決するための方策を考えて記しなさい。
- (2) あなたの取り組むべき研究の方向について、①「高齢化社会にニーズが増す新製品」、②「高齢化社会の歪みを是正する仕組みづくり」のどちらか1つを選ぶことが求められているとする。あなたの観点から双方の利点・欠点を比較考察したのち、どちらを選ぶかを述べなさい。
- (3) コンピュータの能力の拡大と小型化によって人に代わって機械がいろいろな仕事を行うことができるようになってきている。これによって人の活動や社会が変化する可能性をいくつか挙げ、あなたの意見を述べよ。